

令和5年度 全国学力・学習状況調査の瑞穂町の結果、分析及び方策等について

I 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果（国語、算数・数学、英語）について

1 結果内容

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が令和5年4月18日に行われ、その結果が公表されました。この調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、教育委員会の取組の成果や課題の検証、改善を図るとともに、学校における教育指導の改善・充実に役立てることを目的として実施されています。

令和4年度の結果と令和5年度の結果の比較（平均正答率）及び全国との差（％）

<小学校第6学年>

	国語			算数			理科		
	全国	町	国との差	全国	町	国との差	全国	町	国との差
4年度	65.6	49.0	-16.6	63.2	50.0	-13.2	63.3	49.0	-14.3
5年度	67.2	54.0	-13.2	62.5	49.0	-13.5			

<中学校第3学年>

	国語			数学			英語		
	全国	町	国との差	全国	町	国との差	全国	町	国との差
4年度	69.0	58.0	-11.0	51.4	36.0	-15.4			
5年度	69.8	62.0	-7.8	51.0	40.0	-11.0	45.6	35.0	-10.6

2 傾向

- 国や都と比較すると平均正答率を下回る結果となっています。全ての調査教科において、8～13ポイント程度下回っています。一方で、令和4年度と比較すると令和5年度は、小・中学校の国語及び、中学校の数学において全国との差が3～4ポイント縮まる傾向を示しており、授業改善の成果が見られます。
- 教科別に回答の傾向を見てみると、小学校は、全国平均と比べて無回答率が、国語が2.7倍程度、算数が3.6倍程度、中学校は、国語が1.5倍程度、数学が1.8倍程度、英語が2.1倍程度となっています。

II 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果（児童・生徒質問紙調査）について

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査と同時に、児童・生徒の学習意欲や生活状況に関する質問紙調査も行われました。

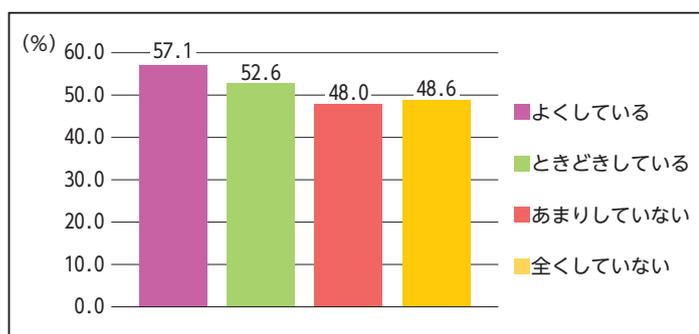
令和5年度 質問紙調査の結果（抜粋）（％）

1 平均正答率と意識調査の相関関係の例

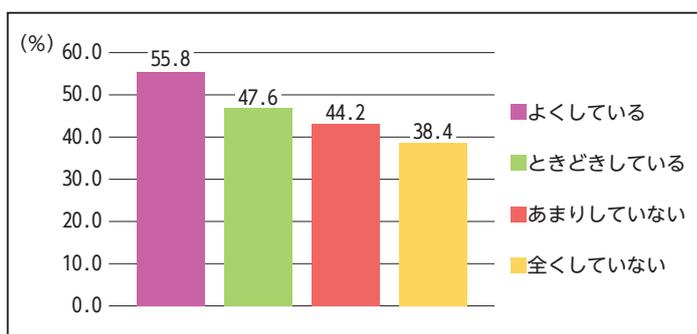
（瑞穂町の結果、点数は、国語及び算数・数学、英語の平均正答率を合わせた結果）

質問・家で自分で計画を立てて勉強していますか。（学校の授業の予習や復習を含む）

（小学校 第6学年）



（中学校 第3学年）



2 質問紙調査の結果のうち、瑞穂町において「課題となる項目」(抜粋)

<小学校第6学年>

黄色・・・前回より改善が見られた項目 青色・・・前回より下回った項目

質問事項	選択肢 (抜粋)	令和5年度 町	全国	国との差	令和4年度 町	短評
学校の授業以外に 普段、1日当たりど れくらいの時間、 勉強をしますか	3時間以上、2 時間以上3時間 より少ない	22.1	25.6	-3.5	16.8	1日あたりの勉強時間 で、2時間以上の児童 の割合が増加している が、依然、全国平均よ り下回っている。
	1時間以上2時 間より少ない	25.1	34.3	-9.2	31.0	
	1時間未満、全 くしない	52.8	40.5	12.3	52.2	
家で自分で計画を 立てて勉強してい ますか	よくしてい る、ときどき している	48.3	55.0	-6.7	67.7	自分で計画を立てて勉 強する児童の割合は大 きく減少し、全国平均 より下回っている。
5年までの授業で、 発表する機会 では、自分の考え がうまく伝わるよ う、方法を工夫し て発表していまし たか	発表してい た、どちらか といえば発表 していた	59.4	63.7	-4.3	58.0	発表の機会が増えてい るが、全国平均より下 回っている。

<中学校第3学年>

質問事項	選択肢 (抜粋)	令和5年度 町	全国	国との差	令和4年度 町	短評
学校の授業以外に 普段、1日当たりど れくらいの時間、 勉強をしますか	3時間以上、2 時間以上3時間 より少ない	25.6	33.7	-8.1	30.8	前回より、2時間以上 の割合は減少した。1 時間未満の生徒の割 が増加した。
	1時間以上2時 間より少ない	26.6	32.1	-5.5	29.0	
	1時間未満、全 くしない	47.8	30.4	17.4	39.4	
家で自分で計画を 立てて勉強してい ますか	よくしてい る、ときどき している	48.3	55.0	-6.7	55.4	自分で計画を立てて勉 強する生徒の割合は減 少し、全国平均より下 回っている。
1、2年までの授業 で、発表する機会 では、自分の考え がうまく伝わるよ う、方法を工夫し て発表していまし たか	発表してい た、どちらか といえば発表 していた	58.9	62.1	-3.2	61.1	発表の機会が全国平均 を下回り、全国平均と の差も広がった。

3 傾向・分析

- 児童・生徒の学力調査と意識調査の相関関係を分析すると、授業時間以外に「1時間以上勉強をする」と「1時間未満しか勉強していない」では、学力調査の結果で小学校で3.8ポイント、中学校で4.9ポイントの差が生じています。ご家庭でも学習時間の確保していただくようお願いします。
- 自分で計画を立てて勉強をしている児童・生徒と計画を立てずに勉強している児童・生徒では、学力調査の結果で小学校で6.5ポイント、中学校で10.5ポイントの差が生じています。自分で計画を立てて勉強する習慣を身に付けることが大切です。